

経済・金融 フラッシュ

企業物価指数(2013年5月) ～前年比で上昇幅が大幅に拡大

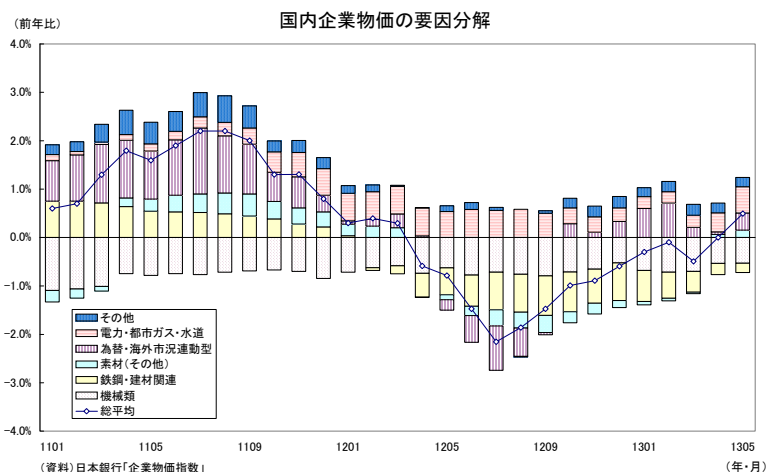
経済調査部門 研究員 押久保 直也

TEL:03-3512-1838 E-mail: oshikubo@nli-research.co.jp

1. 企業物価指数は前年比で2ヶ月連続の上昇

6月12日に日本銀行から発表された企業物価指数によると、2013年5月の国内企業物価は前年比0.6%と2ヶ月連続で上昇し、4月の同0.1%から上昇幅が拡大した。また、対前月比では0.1%と6ヶ月連続で上昇した。

5月の国内企業物価（前年比）を寄与度別に見てみると¹、機械類が前年比▲0.5%（4月：前年比▲0.5%）、鉄鋼・建材関連が前年比▲0.2%（4月：前年比▲0.2%）、素材（その他）が前年比0.2%（4月：前年比0.1%）、為替・海外市況連動型が前年比0.4%（4月：前年比0.1%）、電力・都市ガス・水道が前年比0.5%（4月：前年比0.4%）、その他が前年比0.2%（4月：前年比0.2%）となっている。



国内企業物価（前年比）の上昇幅が大幅に拡大した要因としては、円安の進行に伴い輸入物価が大幅に上昇していることで、素材（その他）、為替・海外市況連動型、電力・都市ガス・水道の前年比での寄与度が4月よりも上昇したことがある。

今後は①海外経済が回復していくことで、国際商品市況も上昇していくことが見込まれること、②貿易赤字の恒常化、米国のQE3縮小観測などから円安基調が続くとみられること、から国内企業物価（前年比）は上昇基調が続くだろう。

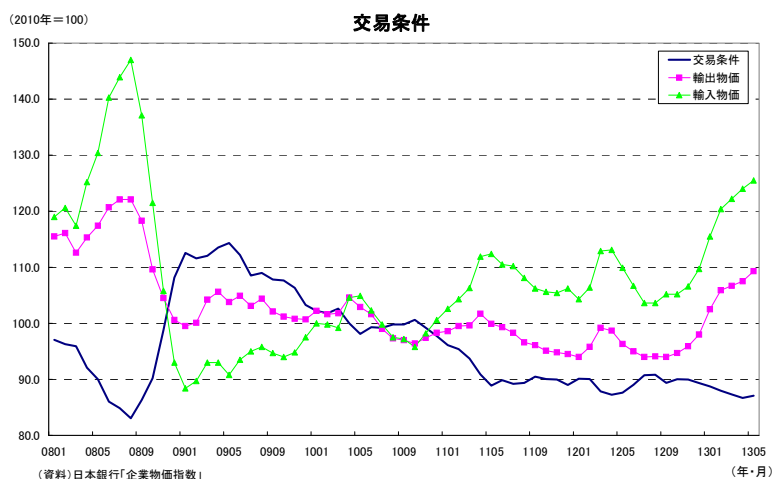
¹ 機械類：はん用機器、生産用機器、業務用機器、電子部品・デバイス、電気機器、情報通信機器、輸送用機器
鉄鋼・建材関連：鉄鋼、金属製品、窯業・土石製品、製材・木製品、スクラップ類
素材（その他）：化学製品、プラスチック製品、繊維製品、パルプ・紙・同製品
為替・海外市況連動型：石油・石炭製品、非鉄金属
その他：食料品・飲料・たばこ・飼料、その他工業製品、農林水産物、鉱産物

2. 交易条件は7ヶ月ぶりに改善

5月の輸出物価は前年比13.5%、前月比1.7%となり、輸入物価は前年比14.2%、前月比1.2%となった。一方、契約通貨ベースでは、輸出物価は前年比▲2.3%、前月比▲0.4%となり、輸入物価は前年比▲4.5%、前月比▲1.3%となった。輸出物価、輸入物価ともに契約通貨ベースでは前年比で下落しているものの、円安が進展しているため、円ベースでは前年比で大幅な上昇となっている。

5月の交易条件（輸出物価／輸入物価×100）は87.1（4月：86.7）となり、7ヶ月ぶりに改善した。

今後は、貿易赤字の定着、米国のQE3縮小などに伴い円安基調が続くとみられることから、交易条件の更なる悪化が見込まれる。



3. 消費財は6ヶ月連続で上昇

2013年5月の国内需要財の物価は前年比3.6%（4月：前年比2.2%）となった。その内訳を需要段階別・用途別にみると、素原材料が前年比11.3%（4月：前年比7.2%）、中間財が前年比2.9%（4月：前年比1.8%）、最終財・資本財が前年比1.3%（4月：前年比0.8%）、最終財・消費財が前年比2.3%（4月：前年比1.3%）となった。いずれの財についても、前月より上昇幅が前年比で拡大した。企業間の取引では、素原材料、中間財のみならず最終財にまで物価上昇が徐々に波及している。

足元の消費者物価は下落基調が続いているものの、川上から川下への価格転嫁が徐々に進むことで、消費者物価も上昇に転じることが予想される。

